



CHIE FUKUDA

福田ちえの市政だより

発行:福田ちえ後援会 事務所:宇都宮市六道町 12-38 電話:028-636-2582 FAX:028-636-2559
<http://www.f-chie.jp/> ☒info@f-chie.jp facebook 福田ちえ twitter @fukudachie

平成29年度 政策・制度に関する予算化要望を市長へ提出

人口減少・超高齢社会といった大きな社会構造の変化に対応していくため、実行性ある施策展開をしなければなりません。日本財団（平成27年12月公表）では、子どもの貧困問題を放置すると、社会の支え手が減ると同時に支えられる人が増えるため、社会的損失は年間約40兆円に上ると試算しており、貧困家庭と子どもへの支援は日本の最重要課題であるとしています。宇都宮市においても平成29年度をピークに人口減少が進むとされる中、個々のニーズに合わせた行政の柔軟な対応が求められています。

所属する市民連合会派では、平成29年度宇都宮市予算の編成にあたり、子どもの貧困対策、子ども・子育て支援、地域包括ケアシステムの構築、災害対策の強化、産業政策の充実など、政策・制度に関する要望を16分野49項目151項に取りまとめ、市政運営に反映するよう要望しました（平成28年11月8日）。今後とも政策・制度の実現に向けて尽力してまいります。



11/8 予算要望を提出

平成28年12月(第5回)定例会に登壇

【平成28年12月13日(火) 一括質問】

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 市長選挙の結果について
 - (2) まちづくりの装置としてLRTが果たす役割と、LRT導入による日常生活への影響について
- 2 民間団体の活用と市民協働のまちづくりについて
 - (1) まちびあの機能強化について
- 3 子ども・若者・ひきこもり支援について
 - (1) 児童相談所に関する県と市の役割分担
 - (2) スクールソーシャルワーカーの増員と活用について
 - (3) ひきこもりサポーター派遣事業実施要綱策定について
- 4 生活困窮者自立支援について
 - (1) 一時生活支援事業の取り組みについて
 - (2) コミュニティソーシャルワーカーの配置について
 - (3) 身元保証人確保対策について
- 5 我が事・丸ごと地域共生社会について
 - (1) 富山型デイサービスについて
 - (2) 地域支え合い活動推進条例の制定について
- 6 ろうあ者の居場所づくりと介護について
- 7 性犯罪・性暴力の撲滅と被害者支援について
- 8 教育行政について
 - ・不登校対策について
 - ・ICT活用について



1 (2) 市長答弁 (抜粋) 誰もが安全で快適に移動できる骨格の強い交通未来都市に取り組む。公共交通を有効に利用するよう意識の転換を図っていくことが重要であり、より一層市民理解の促進に取り組む。

再答弁 (抜粋) 地域包括ケアシステムとネットワーク型コンパクトシティを絡めて、全国のモデル都市となるような公共交通に支えられた新しいまちづくりを創っていく。交通不便地域をカバーする地域内交通システムを駆使して交通空白区域を無くし、誰もが外出できる社会を創っていききたい。

5 市長答弁 (抜粋) 国では「地域共生社会」の実現に向けて「縦割り」の公的福祉サービスの見直しを進めることとしており、本市でも「効果的・効率的なサービス提供のあり方」について検討していく。

8 教育長答弁 (抜粋) 不登校児童生徒の増加は極めて重大な問題であり、深刻に受け止めている。校長会と対応を協議するとともに、不登校対策のための検討部会を設置し、組織一丸となって対策の強化を図っていく。



議事録は、宇都宮市議会HPで検索できます
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>

行政視察の報告



荒川区:子どもの貧困対策 (10/11)

リスクを持った世帯のシグナルを早期に発見し、包括的にリスク軽減の方法を提供することで、子どもの貧困・社会排除の状態に陥ることを回避する取組みがなされており、部課の垣根を越え、職員一丸となり「区政は区民を幸せにするシステムである」(区のドメイン)向かっている。荒川区では平成32年4月に区へ児童相談所を移管する方針で、既に東京都児童相談所へ区職員を派遣しており、子ども家庭支援センターの人員強化等、児童相談行政の更なる充実強化に取り組まれていた。

長野市:生活困窮者自立支援制度 (10/12)

平成27年4月1日から施行の「生活困窮者自立支援法」に基づき、「長野市生活就労支援センター」で、様々な問題を抱えて生活に困窮している方に対し、地域の関係機関と連携しながら寄り添い型の相談支援を実施、全ての任意事業に取り組んでいる。県の後方支援も大きい。事業の運営を、社会福祉法人長野市社会福祉協議会に業務委託している。

富山市:富山型デイサービス (10/13)

厚労省の「我が事・丸ごと」地域共生社会のモデルとなった、富山型デイサービスの行政視察とデイサービス「このゆびとーまれ」の現地視察を行った。ここは年齢や障害の有無にかかわらず、同じ空間で、誰もが一緒に、住んでいる地域でデイサービスを受けられる居場所で、「誰でも必要なときに必要なだけ利用」できる地域の実家の様な存在で、施設らしさは全く感じられない。行政の柔軟な補助金の出し方で、官民一体となって取り組んでいる。本市においても「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、誰もが居場所と出番のある「地域共生社会」が早期に実現されるよう提言する。



(厚労省資料より)

栃木県の総合的な子ども若者支援について勉強会を開催 (9/28)

講師:中野謙作氏(一般社団法人栃木県若年者支援機構 理事長) 議員及び職員が参加。子ども・若者の諸問題は深刻化しているが、支援はその一角にしか届かない。



栃木県中央児童相談所を訪問し、意見交換 (10/3)

平成28年5月「児童福祉法等の一部を改正する法律」が成立した。児童虐待の発生予防から自立支援まで一連の対策の更なる強化を図るため、県中央児童相談所を訪問し現況を伺った。虐待相談受付数は年々増加傾向にあり、平成27年度の栃木県における児童虐待対応件数は1,661件(児相959+市町702)、うち宇都宮市440件(県中央児相344+本市96)であり、平成21年度対比では約2倍となっていた。近年、児童問題は複雑・多様化しており、一つの機関のみで解決することは容易ではない。関係機関の連携強化はもとより、相談体制の強化、要保護児童への支援の強化、生活支援の充実、虐待発生時迅速な対応等、一層強く求めていく必要があると感じた。



福田ちえ●PROFILE

1965 (S40) 3.16 生まれ O 型 家族構成: 夫、娘3人、義母
宇都宮市立西原小学校~宇都宮市立一条中学校~栃木県立宇都宮工業高校~日本工業大学システム工学科卒業 (1987.3)

●これまでの主な経歴

1987~1993年 足利システムサービス(株) (足利銀行グループ)
2001~2005年 衆議院議員 水島広子秘書
2007年4月 統一地方選挙 宇都宮市議会初当選
2014~2015年 老人デイサービスセンターにしはら
2015~2016年 宇都宮中央ライオンズクラブ会長
西原小学校 PTA 会長/一条中学校 PTA 副会長/宇都宮市 PTA 連合会 常任理事/同 教育課題特別委員会委員長

●現在の主な役職

宇都宮市議会議員 (3期) / 環境経済常任委員会 (副委員長) / 宇都宮市街地開発組合議員 / 社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
一条中魅力ある学校づくり地域協議会 / 西原小魅力ある学校づくり地域協議会 / 西原宮っ子ステーション運営委員会会長 / ちゃりんぐと愉快な仲間たち代表 / 村田発條労働組合特別相談役 / JAM組織内議員団 / 栃木県地方議会女性議員連盟 /

福田ちえ後援会【新春の集い】

【日時】 2月17日(金)

開場18:00、開会18:30

【場所】 宇都宮グランドホテル

(宇都宮市西原町 142)

【会費】 6,000円

【締切】 2/10までにお願ひします

【お申込み・お問合せ】 福田ちえ後援会

※送迎バスやアトラクション等の詳細はお問合せ下さい (TEL.028-636-2582)

福田ちえ重点政策

- 在宅介護の仕組みの充実
- 子育て子育て環境の整備と充実
- 福祉都市宣言を生かした市政運営
- 仕事と生活の調和と雇用環境の整備